VUCAの時代

労働安全リスクはゼロにはできない。
だからこそ早く異変に気づく力が必要だ。



世界のリーダーの62%が、これから10年を荒れ模様の時代と見ている。
安定ではなく、想定外が続くことを前提にした現場づくりが必要だ。

（出典：World Economic Forum, Global Risks Report 2025）

想定外が常態化

大規模自然災害／サプライチェーン遮断／
クラウド集中依存リスク／サイバー攻撃／地政学リスク…

過去発生していない事態に遭遇

従来の堅牢な設計だけでは限界

- 過去の経験則に頼った対策
- 再発防止策、文書化自体が目的化
- チェックポイント肥大化でルール遵守が機能不全
- 人に依存したダブルチェック→人材自体が不足

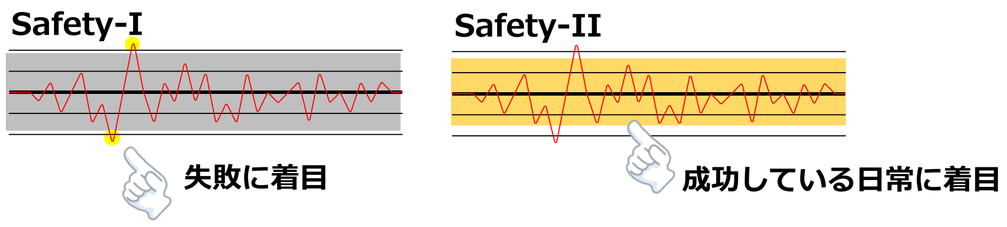
見えにくい「現場疲弊」の積み重ね

- 一人あたりの負荷が高く、**無理な踏ん張りが当たり前に**
- ポカヨケが増えすぎて**アラート疲れ**
- 現場を回すための「気の利いたカバー」がたたり、**腰痛が慢性化**
- 熟練技能者の**経験と勘**が頼り。でもこの先どう**引き継ぐか**が見えない…

エラーに着目した失敗をなくすアプローチだけではなく、上手くいっている動きに着目して成功を継続させる「レジリエンス工学」のアプローチで想定外を乗り越える

レジリエンス：困難や逆境から弾力的に立ち直る力
レジリエンス工学：**不安定**や混乱の中でも、システムが**適応**し、脅威を**予期**し、可能な限り**持ちこたえ**、**学び続ける**力を設計

Safety-I：事故が起きないようにルールベースで**失敗をなくす**
Safety-II：普段はなぜうまくいってるのか**成功に注目**





Right4W での解決策は裏面へ

気づきを促す **worktransform®**

株式会社情報システムエンジニアリング
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場３丁目 35-2 AD 高田馬場ビル
https://ise.co.jp/

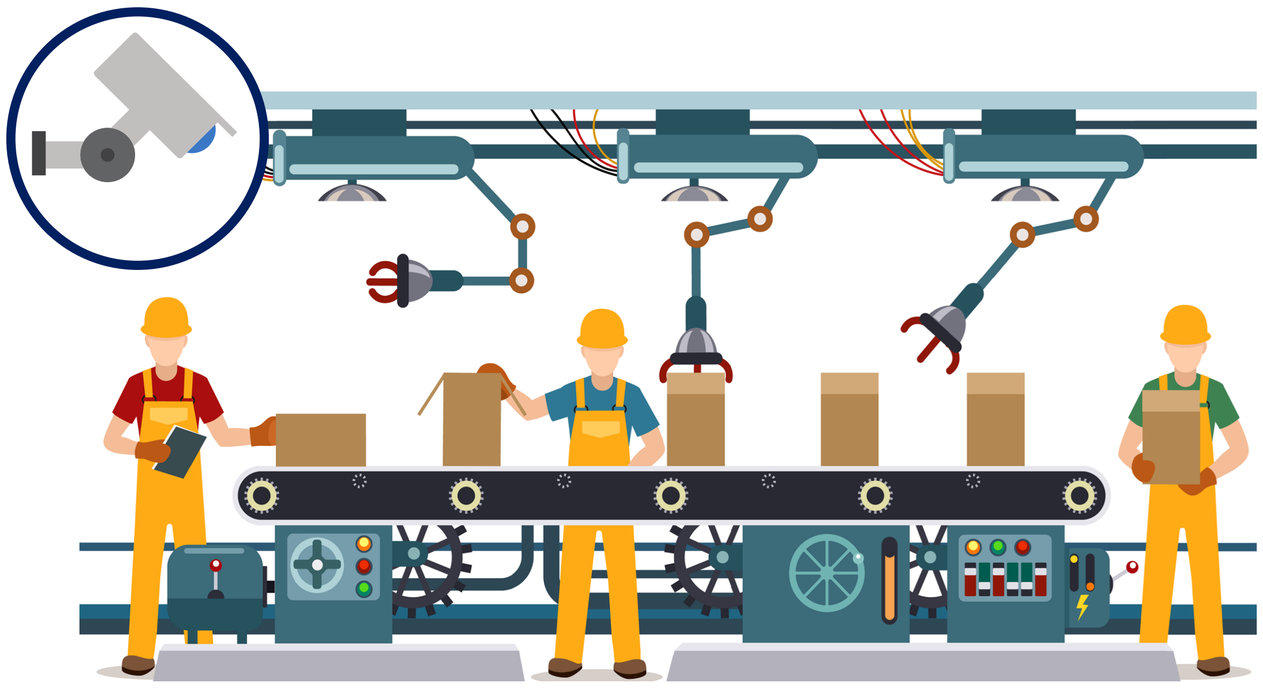
worktransform、ライトフォーワーク/Right4W/R4Wは、
株式会社情報システムエンジニアリングの登録商標です。
一部画像に生成AIを使用しています。

2026年03月版

ライトフォーワーク

Right4W

レジリエンス発想で 人が不可欠な現場の安定・正常・成功体験を維持



エッジAIカメラによる状況判定と情報の適切な報知により、作業のズレ・中断・曖昧さに気づき、上手くいった流れを学びに変えることで現場の成功体験を維持します。

現場の「いつもと違う」をチェック

適切な気づきで現場を止めない

現場のグッドポイントを可視化

Right4W の 4 つの機能 と 現場の「レジリエンス」を高める 4 つの能力

1 Recognize 標準動作維持支援機能

監視力↑
今何が起きているのかを把握
現場の変化・兆候の早期発見

作業者の動作をリアルタイムに認識し、過去の標準動作を**半透明で重ねる**ことで、**標準動作の維持を支援**します。

ポイント

- **連続する作業の傾向を解析**
- **しきい値を超えてからではなく逸脱傾向を察知**
- **作業が集中している中で気づきを与える**
  「～しなければならない」という指示・命令は作業者の思考と調整の力を奪う可能性があるので頻繁なアラートは集中力の低下を招く。
  ➡認知心理学やナッジの応用で気づかせます。

2 Resume 作業再開支援機能

即応力↑
起きた事象に対して適切に対応
状況に応じた柔軟な対処

作業中に発生する**意図しない中断**（工具交換、資材補充、声かけ等）に対し、中断**直前の作業文脈を映像として記録**・保持し、
復帰時に**視覚的ヒントを提示**することで、**作業の正確な再開を支援**します。

ポイント

- **連続する作業をAIカメラで記録**
- **対象（人・モノなど）がフレームから外れる、または特定のジェスチャーを検知すると、直前数秒間の映像を報知ディスプレイ上に再生**

➡**「どの部分、どの位置から再開すべきか」**をすぐに把握でき、**切れ目部分の漏れ・ミスを回避**できるようになります。

3 Review 作業ハイライト抽出機能

学習力↑
実態から学び、将来に活かす
成功・失敗から知見を獲得

作業の一連映像から「意味のある動作変化」を見つけるための動画を抽出します。チーム内のレビューで**「うまくいっていた流れ」や「良い工夫」への気づきと共有に活用**され、**現場全体の学習力・改善力を高めます**。

ポイント

- **作業映像から短いハイライト動画を自動または特定ジェスチャーで明示した時点を中心に抽出**
- **タイムラプス表示・複数同時再生表示**

➡短時間で作業を振り返り、良い作業の流れに気づき、チームで学びを深めることができるようになります。
➡作業工程改善に役立てられます。

4 Reveal 逸脱予兆可視化機能

予測力↑
まだ起きていないことを想定
潜在的なリスク機会を先取り

現場の**「いつもと違う」をAIがモニタリング**します。気が付きにくい、見過ごされがちな日常とのギャップを検知して、**現場改善ポイントの探索**に役立てます。

ポイント

- **普段の作業風景をエッジAIカメラが一定期間記録して一連の作業の「正常モデル」を作成**
- **正常モデルと実際の作業状況とを比較し、普段とは異なる傾向を検知**

➡一般的なソリューションと異なり、AIに「エラーパターン」を覚え込ませる必要がないので短期間で導入効果を出すことができます。
➡「何かおかしい」「いつもよりよさそう」を見つけ、潜在課題の予防的対策、潜在能力の引き出しを支援します。

ライトフォーワークで現場のレジリエンスを高め、組織の複雑な現場課題を解決します。

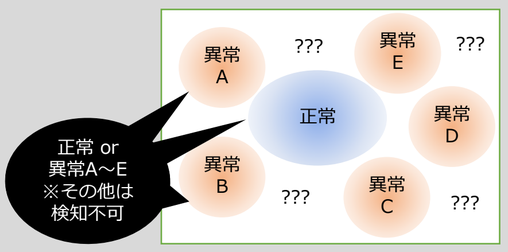
- ✔ **職場における従業員の安全を守るための予防的対策**
- ✔ **企業における労働災害リスクの低減**
- ✔ **貴重な人材の長期的な定着の確保**

Right4W と 他のAI異常検知システムと違い

- **異常ではなく「正常からのズレ」を見る**
  一般的なソリューション：
  ルールやNGパターンを学習し「異常パターンが出たらアラート」を出すのが中心。
  Right4W：
  各現場・各チームごとの「うまく回っている時の流れ（正常）」を学習。
  異常パターンを覚え込ませることなく導入できます。

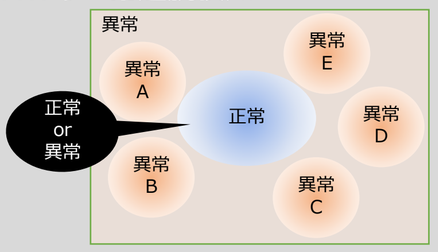
- **しきい値ではなく、予兆・傾向を捉える**
  一般的なソリューション：
  「この値を超えたら異常」「OK/NGの二択」といったしきい値ベースの判定が中心。
  Right4W：
  小さな時間ロスや、迷い動作の増加、休止時間の変化など、すぐには異常と見なされない「予兆・傾向の変化」に着目。
  しきい値に到達する前の「なにかおかしい」を可視化し、早めの声かけ・作業見直し・負荷調整 につなげます。

異常検知



未知の異常は、検知することができない

Right4Wの正常逸脱検知



未知の異常を、検知することができる

